

例会報告：2017年5月30日（晴れ） 第1981回 通常例会

- ❖ 会員誕生日  
大木 清さん（5月27日）
- ❖ 結婚記念日  
一寸木 芳行さん（6月1日）
- ❖ 奥様誕生日  
一寸木 広美様（6月1日）



ニコニコ箱  
大川 裕 委員

	ニコニコ箱	累計	目標
5月30日分	11,000	755,515	1,200,000

\*会員誕生日  
大木 清さん…誕生日のお祝いをありがとうございます。

\*結婚記念日・奥様誕生日  
一寸木 芳行さん…結婚記念日と妻の誕生日のお祝いありがとうございます。

\*その他  
清 康夫さん…この26日に当卸団地の総会があり、役員改選年度にて、又理事長に推薦されました。三宅さんには副理事長を受けて頂きました。これから2年間、頑張ります。

大谷 宏さん…久しぶりの例会です。辻村会長お元気でしたか？

- ■ 今後のメイクアップ情報 ■ ■  
-2017年6月-
- ▶7日（水）小田原北
  - ▶8日（木）小田原中 **特別休会**
  - ▶9日（金）湯河原 万葉荘 12:30  
「会員による卓話（新会員）」
  - ▶9日（金）足柄 おんりーゆー 12:30  
「留学生による卓話」
  - ▶12日（月）小田原 報徳会館 12:30  
「卓話：プログラム委員会」
  - ▶13日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30  
「卓話：小田原警察署」
  - ▶14日（水）小田原北
  - ▶15日（木）小田原中 報徳会館 12:30
  - ▶16日（金）湯河原 万葉荘 12:30  
「家族親睦会」
  - ▶16日（金）足柄 おんりーゆー 12:30  
「クラブ協議会（事業報告）」
  - ▶19日（月）小田原 夜間移動例会小田原万葉の湯 18:00  
「クラブ協議会（委員長今期事業報告）」
  - ▶20日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30  
「年度末クラブ協議会 会長」
  - ▶21日（水）小田原北
  - ▶22日（木）小田原中 報徳会館 12:30  
「クラブフォーラム@ 担当理事1年を振り返って」
  - ▶23日（金）湯河原 万葉荘 12:30  
「クラブ協議会④会長・副会長・幹事」
  - ▶16日（金）足柄 おんりーゆー 12:30  
「クラブ協議会（事業報告）」
  - ▶19日（月）小田原 小田原お堀端万葉の湯 18:00  
夜間移動例会
  - ▶20日（火）箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30  
「年度末クラブ協議会：会長」

【小田原城北ロータリー・クラブ】  
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
URL：http://www.odawarajhrc.jp  
Mail：info@odawarajhrc.jp  
例会場：小田原卸センター内会議室  
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
例会：毎週火曜日 12:30～13:30  
クラブ会報委員会  
監修：櫻井 康二  
編集長：小林 和彦  
コピーライター：小林 和彦  
デザイン：小林 和彦  
フィールド：大川 久弥

**会員数：36名**



**RAC**  
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

# 小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2016-2017  
WEEKLY BULLETIN



人類に奉仕するロータリー

【R.I. 会長】  
ジョン・ジャーム

【R.I. 2780地区ガバナー】  
佐野 英之

【第9グループガバナー補佐】  
高田 喜好



【会長】辻村 彰秀  
【副会長】阿久津 馨  
【幹事】櫻井 康二  
【副幹事】荻野 善明  
【会場監督】小川 和夫

人類に奉仕するロータリー  
ROTARY SERVING HUMANITY

**本日の例会：通常例会（第1982回）**

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2017年6月6日 12:30～13:30  
司会：荻野 善明 副幹事

【今後の例会・卓話スケジュール】

6月13日（火）通常例会 12:30  
卓話：米山奨学生  
李 自然（イジャヨン）様

12:30	開会点鐘：辻村 彰秀 会長 国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	卓話：加藤 和磨 様 「夕張の現状について」
13:30	閉会点鐘：辻村 彰秀 会長

6月20日（火）通常例会 12:30  
クラブ協議会（最終例会）

6月27日（火）休会

❖ ロータリー財団表彰

- ボールハリスフェロー  
・大川 裕さん
- マルチプルボールハリスフェロー1回目  
・小川 和夫さん
- マルチプルボールハリスフェロー5回目  
・清 康夫さん



## 例会報告：2017年5月30日（晴れ）

## 第1981回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2017年5月30日 12：30～13：30

### ❖ 会長挨拶



#### 辻村 彰秀 会長

皆さん、こんにちは！先週、施設見学会の大相撲観戦には多数の方がご参加くださり、ありがとうございました。久しぶりの日本人横綱、稀勢の里が休場の前日でしたので、負けたのは残念ですが、雄姿を見ることができ、うれしかったです。私は、初めての両国国技館でしたので、本当にいい経験ができました。やはり、実際に参加して、いろいろ経験、体験することが大切だと感じました。今回の見学会設営には、守屋職業奉仕委員会委員長、富田委員、斎藤委員、鈴木委員本当にありがとうございました。

さて、今日も30度になる暑い日になり、来週から当クラブもクールビズになりますが、皆さんはクールビズ誕生の経緯を覚えてられますか？これは12年前の2005年に環境庁が、地球温暖化防止のため、夏季のオフィスの室温を28度に設定することを呼びかけるために、軽装（ノータイ、ノージャケット）を推奨し、当時の小泉純一郎首相の元で始まったものです。ちなみにこの時の環境大臣は現東京都知事の池田百合子さんです。当初は、それほど浸透しなかったのですが、東日本大震災後には、完全に浸透しています。この制度により、最も影響を受けたのは、アパレル業界、特にネクタイ業者で、廃業した企業、柔軟に対応した企業、業績を伸ばした企業と、明暗が分かれたようです。ただでさえ変化の激しい昨今、制度の変化、顧客ニーズの変化等への、「変化への適切な対応」という発想を持つことは、企業、団体には必要なことだと思っています。当クラブにおいても、「変化への適切な対応」をいつも考えていくべきだと思っております。

私の年度も残すところ、後1ヶ月です。前にお話した須賀さんが来週例会見学にいらっしやいます。更に、お一人の方の入会予定者が見つかりました。是非、後2～3名の新入会員を今年度中に確保したいと思っておりますので、再度、ご協力をお願いいたします。本日の卓話は、御簾納聖子さんの“やどろきでの狩猟生活”です。御簾納さんは、日本では数少ない女性猟師さんで、現在、松田町寄にて活動されておられます。昨今の野生動物による農作物への食害を考えると、猟師さんは大切な職業ですが、最盛期の1/3もないそうです。とても面白そうなお話なので、楽しみにしております。宜しくお願いいたします。以上、本日の会長挨拶でした。

### ❖ 幹事報告



#### 櫻井 康二 幹事

- 1)6月のロータリーレートは先月と同じく110円です。
- 2)次週、第12回定例理事会を開催致します。理事の方は出席を宜しく願います。
- 3)次週から6月になりますので、クールビズになります。

#### 齋藤 永 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
5月30日	36(32)	24	0	75.00%
5月23日	36(34)	26	1	79.41%
5月16日	36(33)	21	7	82.35%

【欠席者】：8名

長田 英一、杉崎 勝成、上田 博和、露木 清勝、木村 啓滋、守屋 善男、大野 英明、大高 英之

【今回MU】なし

【前回MU】増加なし

【前々回MU】増加なし

### ❖ 委員会報告

#### 次年度・須藤 幹事

次週6/6、17：30より風祭の千世倭樓で新旧理事役員引継ぎ会があります。また、次年度年初例会は7/11、第2火曜日となります。よろしくお願いたします。

### ❖ Table flower

- ガーベラ
- ブルーレースフラワー
- プレリウム
- マトリカリア

【花言葉】  
ガーベラ：「希望」  
ブルーレースフラワー：「無言の愛」  
プレリウム：「繊細な美しさ」  
マトリカリア：「集う喜び」



### ❖ 卓話

#### 「寄・狩猟生活」



#### 猟師・御簾納 聖子 様

私は千葉県出身、東京で映像制作やテレビ番組の仕事をしていましたが、環境保全や野生動物管理の勉強を始めたことをきっかけに鉄砲をやってみたくて思いました。全国的にシカやイノシシが増えて農業被害は220億円にもなっています。それを知って軽い気持ちで狩猟を始め、紹介をいただいて寄に通うようになりました。寄猟友会の方々にとても良くしていただいて、いっそのこと住みたいと引っ越してきてしまったのです。現状、猟師として食べていくことはまだできません。野生動物を定期的に獲って肉を売るのはかなり難しく、猟師としての稼ぎはありませんが、猟師をしながらデザイナーをして楽しく過ごしています。

寄の場所は皆さんご存知でしょう。周囲を山に囲まれた谷あいであって、家から一歩出たら鉄砲が撃てる場所です。綺麗な水が流れていて、水道も地下水を使っているのととても美味しく、秋は紅葉が素晴らしい環境の良いところです。私がお世話になっている寄猟友会は、地元の方は年配の方が多いのですが、結構若い方も東京から通ってきています。私たちがやっているのは巻狩という猟犬を使った猟です。猟犬に獲物を追わせて、逃げてきた獲物を待ち構えて鉄砲で撃つという方法です。四国犬や屋久島犬など日本古来の犬が日本の山には合うようで、そういった種類の犬を使います。獲物がどちらから来るかを考えて、配置を決め気配を消して静かに待つのです。猟期は冬なので、場所によっては急斜面を登ったりで脚が鍛えられます。撃った獲物を運ぶのがまた大変。小さめのシカでも50～60kgありますので、枝に括り付けて背負って運ぶのですがかなり重いです。鉄砲自体が3kgくらいあり、弾やナイフも背負っているのが全てが体力勝負となります。入れるところまで車に来てもらって積んで帰りますが、川の水が綺麗なのでそこでまず内臓を抜きます。なるべく早く内臓を抜いて冷やさないように肉が傷んでしまうからです。しばらく川に浸けて冷やすのですが、最近ジビエの安全指導が保健所から入って川で冷やすのはダメとされているので、これからやり方を考えなければいけません。次が解体作業。これも今までは庭先でベニヤ板の上でやっていたものを、同じく指導が入ってこれから変えていくところです。総出で手分けして捌いていくのですが、雪の日でも外でやるのでこれも大変な作業です。イノシシは警戒心が強くてなかなか出てこないで獲れた時はまず犬に覚えさせるために噛ませます。イノシシの方が高く売れるので獲れるとお祭り騒ぎになりますね。野生動物はノミやダニが付いているのでデッキブラシで皮をゴシゴシこすって綺麗にします。イノシシもなるべく早く内臓を抜く、血抜きをすることが大事です。シカの内臓はあまり食べませんがイノシシの内臓はもつ鍋などで食べられるので、内臓も洗って

無駄にしません。オスイノシシの牙は鋭くて、触っただけで切れそうなくらい。これで猟犬が殺されたり、人が大けがをするのです。獲った肉は参加した人全員で均等に分けて持って帰ります。猟の後は皆で集まって、反省会という名の飲み会を毎週やっています。昔話が聞けたり、若い猟師にとっても勉強になる時間です。年1回、鳥獣供養祭という森の恵みに感謝して供養してもらおうお祭りもあります。今すぐ問題になっているのはシカが媒体になって増えてしまったヤマビルと、高山植物への食害。これを防ぐにはシカの数を減らすしかありません。環境省の発表ではシカを半分に減らすのが望ましいとのこと。私たちの猟友会で年間100頭くらい獲っていても、なかなか全体数は減りません。小さな子供の動物を撃つのは心が痛みますが、どんどん増えてしまうので仕方ないことです。私は罠の免許もあるので、罠を使って家から1分のところで捕らえたこともありました。

狩猟シーズンは全国的に11/15～2/15と決まっていますが、獣害のひどい地域は3/15まで延期になったりします。松田町は有害鳥獣駆除という形で、隊員に任命されると一年中狩猟が可能になります。今專業猟師の方は全国に何人もいないと思います。北海道などではそれで生活している方もいるようですが、ここは山が深くて專業は難しいです。それでもできたらいいなと考えて活動をしています。狩猟を始めるにはまず狩猟免許が必要で、それは網と罠と鉄砲とに分かれています。鉄砲を使うには銃砲所持許可証も必要です。そしてそれぞれ実技試験と筆記試験があります。実技は例えば鉄砲なら鉄砲の分解と組み立て、網や罠は実際に仕掛ける実技試験。経験年数は必要ありません。銃砲所持は公安局の許可をもらわなくてはいけないのでかなり大変で、書類を書いたり身辺調査されたり、取得に半年以上かかったりします。鉄砲を実際に撃つ実技試験ももちろんあります。狩猟試験は鳥獣保護法のような法令について、獲っていい動物と獲ってはいけない動物の判別ができていないか、弾がどれくらい飛ぶか、民家から何メートルのところは撃ってはダメとか、細かいことを勉強します。狩猟免許も銃砲所持許可も3年ごとの更新で、銃砲所持許可はそのたびに講習・試験・実技試験を受けなくてはなりません。寄で使う罠はくくり罠という、ワイヤーとバネを使ったものです。後は箱罠という大きな檻も利用します。日本では全国的にその2つが主流だと思います。猟銃は散弾銃で、鳥類には鉛害が出ることがありますが、哺乳類にはほとんど鉛害はありません。今推奨されているのは散弾銃でも1発しか弾の出ないスラッグ弾です。

狩猟で一番魅力に感じるのは、自分が獲った肉を誰かにあげた時に、お礼にみかんやキノコをもらったり山菜や海の幸をいただいたり、昔ながらの物々交換ができることです。そんな人間関係の温かさを感じながら、寄の狩猟生活を楽しんでいます。

